

第6回新生公立鳥取環境大学設立協議会開催結果について

平成23年8月10日

第6回新生公立鳥取環境大学設立協議会を開催し、公立大学法人鳥取環境大学の定款案等を取りまとめました。

1 第6回協議会（8月9日）の概要

【出席者】

鳥取県知事（会長）、鳥取市長（副会長）、鳥取県教育長、企画部長、鳥取市教育長、企画推進部長、学校法人鳥取環境大学理事長、学長、常務理事

【議事、報告事項】

（1）公立大学法人の経営体制について

持続可能な経営の実現に向けて、新公立大学法人の定款案、県市共同での運営協議会の設置、理事長・学長一体型の理由、役員・審議会委員の選任のメルクマール等を説明、議論

（2）財産の取扱いについて

現在の大学の土地建物の鑑定評価、その土地建物の公立大学法人への出資等について説明

（3）経営見通しについて

平成23年度の入学生の増加や交付税措置の見通し等の環境変化を踏まえた最新版について説明

（4）受験生の動向について

オープンキャンパスの参加者の大幅な増加や、学校訪問の好感触、資料請求件数の増加等の状況について報告

以上の内容について議論し、了解された。

【委員からの主な意見】

- ・オープンキャンパスで受験生等の手応えを感じた。この取組を継続することと、就職対策の強化を行うことが必要。
- ・理事長兼学長の選考は設置者だけで判断するというのではなく、事実上の「学長選考委員会」的なものをつくって、御意見をいただきながら客観性を持って判断していくべきではないか。
- ・県外の高校生が学生の多数を占めてしまわないよう、県内の受験生へのPRを教育委員会や私学とも連携の上積極的に行ってほしい。
- ・県外に比べて県内はまだ関心の薄さを感じる。地元経済界や県民一般へのPRを行うべき。
- ・秋田の国際教養大学の取組を参考にし、語学教育の強化など国際人材の育成に取り組んでほしい。
- ・中期目標（法人の達成すべき目標）について、9月か10月という早いタイミングで骨子を議会等に示し、議論をいただくようにしてほしい。
- ・就職対策について、公立大学卒業生になる今の在学学生から教職員一丸となってしっかり取り組んでほしい。

2 今後の取組

今回取りまとめた、①公立大学法人鳥取環境大学定款、②新生公立鳥取環境大学運営協議会及び公立大学法人鳥取環境大学評価委員会の設置、③負担付き寄附の受納、④財産の出資、⑤公立大学法人鳥取環境大学に係る重要な財産の定めに係る議案について、9月開会予定の鳥取県議会及び鳥取市議会にそれぞれ提案し、御審議いただく予定。